

質問した事項

渡辺 義光 議員（市民クラブ）……………10

- ・八幡平市職員心得五力条の実践と意識改革について
- ・社会科副読本を教材にした学習発表会について

立花 安文 議員（八起会）……………11

- ・市指定無形民俗文化財の振興について
- ・平館高校の「いわて留学」について
- ・空き家、宅地バンクおよび市の住宅用地販売について
- ・佐々木市政のこれまでの総括と今後の抱負について

工藤 直道 議員（自由クラブ）……………12

- ・関係人口創出について
- ・外国人児童・生徒の日本語指導について
- ・高齢者福祉の現状と支援策について
- ・民生委員のなり手不足について

羽沢 寿隆 議員（八起会）……………12

- ・遊休農地の現状について
- ・商工業者の支援について

高橋 悦郎 議員（日本共産党）……………13

- ・大更駅周辺および隣接地域のまちづくり環境整備基本計画について
- ・市の繁殖育成センターについて
- ・子育て支援について

外山 一則 議員（八起会）……………14

- ・10年後見据えた農業施策について
- ・当市のインフラ管理について
- ・空き公共施設の活用状況について

北口 功 議員（無会派）……………14

- ・高齢者等温泉館管理運営事業について
- ・観光事業について
- ・新図書館の電子書籍計画について

田村 正元 議員（八起会）……………15

- ・子育て支援と学校教育について
- ・観光振興対策と今後の振興計画について

工藤 多弘 議員（松西会）……………16

- ・（仮称）大更駅前顔づくり施設について
- ・観光振興について

齊藤 隆雄 議員（日本共産党）……………16

- ・給食費の無償化について
- ・訪問介護について
- ・田山多目的グラウンドの整備計画について

熊澤 博 議員（自由クラブ）……………17

- ・高齢福祉の在り方について
- ・酪農・畜産の振興の在り方について
- ・稲作経営の在り方について

古川 津好 議員（松西会）……………18

- ・市の観光事業と（株）八幡平DMOについて
- ・行政訴訟について



わたなべ よしみつ
渡辺義光 議員



（市民クラブ）

八幡平市職員心得五力条 実践と人材育成に努める



週初めの朝礼で五力条唱和の職員

問 平成20年4月1日に市職員一同が市民に向けて決意表明した八幡平市職員心得五力条を全職員が自覚し市民サービスや自己研修に努めていることに敬意を表する。一方で自治会活動などに職員がもっと参加してほしいとの声や課題がある。

市長 職員の地域行事への参加は地域の現状や住む人を知る貴重な機会で自身の成長にもつながる。皆さんと共に考え、一緒に活動することは、まちづくりの原点である。職員一人一人の資質向上と能力開発を図り期待に応えるよう督励する。

問 4月1日から組織の横断的対応、行政サービス向上のため部制が施行される。職員のスキルアップ、意識改革をどう進める考えか。

市長 人材育成は重要な施策である。効率的事務執行、状況判断、政策形成能力向上など職員研修を強化する。

副読本の活用例として評価する。現場学習の拡大策は。教育長 副読本を活用し地域の先人や伝統を学び郷土愛、誇りある児童生徒の育成に努める。議員からご指摘のあった八幡平市略年表に数力所の誤りがあった。監修者として深く陳謝する。



たちばな やすふみ
立花安文 議員



（八起会）

指定無形民俗文化財振興 必要に応じて支援を検討

問 安代地区郷土芸能まつりは、無形民俗文化財の貴重な発表の場であり、開催が継続できるように市が助成金を交付して保存と振興を図ってはどうか。

市長 現時点では予定をしていないが、市民の皆さんが体験できるような機会を知しており、郷土芸能まつりは必要に応じて支援を検討したい。

問 市制20周年記念事業で郷土芸能フェスティバルを開催してはどうか。

市長 活動している全ての団体の映像記録保存が終了した。日本芸術文化振興会の助成事業で行ったことからDVDの一般販売はできないことになっている。

市長 民俗芸能は、発表機会に恵まれないと消滅する恐れがあることは承知しているが、市民の皆さんが体験できるような機会を知っており、郷土芸能まつりは必要に応じて支援を検討したい。

市長 活動している全ての団体の映像記録保存が終了した。日本芸術文化振興会の助成事業で行ったことからDVDの一般販売はできないことになっている。

市長 活動している全ての団体の映像記録保存が終了した。日本芸術文化振興会の助成事業で行ったことからDVDの一般販売はできないことになっている。

市長 活動している全ての団体の映像記録保存が終了した。日本芸術文化振興会の助成事業で行ったことからDVDの一般販売はできないことになっている。



小屋畑田植踊りの練習風景

市長 湯沢地区、柏台地区ともに一区画が販売に至っていない。両地区とも直近の販売から20年以上が経過していることから、不動産鑑定評価による適正流通価格と販売価格の比較による価格の見直しを検討する。



くどう なおみち
工藤直道 議員
(自由クラブ)



問 移住に至らないまでも地域外の人材が、地域づくりの担い手となる仕組みが必要と考える。関係人口創出についての見解を伺う。

市長 令和元年度から実施している八幡平市応援市民制度を継続し、7年度は東京や仙台市で関係人口創出

のためのイベント開催も検討していく。

問 総務省では、都市住民と地域のマッチング支援をする中間支援機能の必要性が指摘されているが。

市長 8年度に開所する移住定住センターを中心に移住者を中核とした中間支援

を行う団体のサポートなど、関係人口のさらなる創出が図られるよう努めていく。

外国人児童支援は

問 市内の小学校で、日本語指導が必要と思われる児童数を伺う。

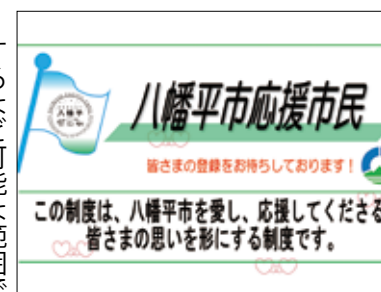
教育長 松野小学校に在籍

する8名で、全員がハロウインターナショナルスクール安比校の関係者である。

問 児童・生徒への日本語指導については、子どもたちが個々の能力を発揮できるように、教育体制が整っているのか。

教育長 小型翻訳機を活用

するなど可能な範囲で支援しているが、体制整備までには至っていない。7年度には、県教育委員会から「外国人児童生徒等教育推進体制モデル指定研究事業」の指定を受け、大学や国際交流協会などと連携を図り指導体制を構築していく。



八幡平市を応援して下さる制度



はざわ ひさたか
羽沢寿隆 議員
(八国会)



問 消費下支え支援事業でペイペイのポイント還元がある。評価はするが操作に不慣れな方への対応方法は。

商工観光課長 昨年度と同様に市役所や商工会で個別の相談会を複数回開催する。

問 ペイペイ対象の店舗数と利用上限の金額を伺う。

商工観光課長 対象店舗は市内商店の約4割に当たる220店舗で、最大5万円の20%が還元になるため、1万円が上限である。

遊休農地の現状は

問 離農や高齢化による非農地、遊休農地の推移は。

農業委員会会長 本市の遊休農地の面積は、令和3年度が412畝、4年度が404畝、5年度が395畝となっている。

問 遊休農地対策として漆の植栽がある。二戸市では補助を出して、漆の植栽を推進している。当市でも検討

する考えは。

農林課長 市でも漆の植栽については、事業化に向けていろいろな条件整備を検討していく。

オーバーツーリズムの問題

問 当市では、問題の報告

例があるのか伺う。

市長 外国人観光客によるオーバーツーリズムの問題は発生していないが、今後も外国人観光客の増加が予想されることから、全国での対策事例を参考に市民の生活や観光資源に影響のないよう努める。



ペイペイの支払い画面



たかはし えつろう
高橋悦郎 議員
(日本共産党)



問 大更駅の利用者は東口の直接乗降を求めているが。

市長 JR東日本との協議では、複数の改札設置は難しいとのことである。

問 大更駅周辺開発計画には、松子踏切の拡幅工事が計画されているが。

市長 9年度の工事着手で

JR東日本と調整している。

問 大更駅前線商業用地の販売契約の状況は。

市長 現在は1業者のみの契約である。今後は市外業者を含めて再募集していく。

問 顔づくり施設が完成した後の維持管理費は。

市長 年間に1億5千万円

と試算している。うち9千万円は人件費で施設内には39名の職員を配置する。

繁殖育成センター

問 現在の受け入れ頭数と施設の経営収支を伺う。

市長 最大で約940頭の受け入れが可能である。現

在は328頭となっている。7年1月末時点の損益の経営収支は、約1220万円の赤字である。

問 管理者であるJA新しいわてを支援すべきでは。

市長 施設の管理運営は利用料金で賄うことにしているため、今後もこの方針は

顔づくり施設の維持費は年間1億5千万円と試算



早期の拡幅工事が必要な松子踏切

変更しない。

問 利用頭数を増やすため、他の自治体からの受け入れはできないのか。

市長 国の畜産クラスター事業を活用しているため、策定した計画を見直すことで他の自治体から受け入れ可能になる。



もとやまかずのり
外山一則 議員
(八起会)



10年後見据えた農業施策

地域計画を基に支援する



ほぼ現状維持の10年後の目標地図

問 地域計画の目標地図作成期限は、令和7年3月末であるが、進捗状況は。
市長 3月中旬には、28地区全ての地域計画が策定済みとなる見込みである。
問 完成した地域計画についての見解を伺う。
農林課長 現時点では、10

年後の予測が難しく、現状のままのプランがほとんどである。ただ、圃場整備の計画や農地の集積を進めるモデル的な地区もあるため、今後はこうした取り組みへの支援も検討している。
問 6年度から始めている親元就農支援事業の効果は、

市長 現段階で2人に給付している。新規就農者支援制度と併せて市外からの問い合わせもあり、一定の効果は出ていると考えている。
市のインフラ資産危険な箇所と対策
問 県道が陥没し、トラッ

クが横転した事故があった。当市のインフラ資産で、老朽化が進んでいる危険な箇所はあるのか。
市長 上下水道、道路、橋の老朽化に対し、定期点検と計画的な修繕で安全確保に努めている。危険箇所はなく、長期計画に基づく対

策を推進している。
問 廃止した29施設のうち、10年をめどに優先的に解体する5施設の進捗は。
市長 2施設は解体工事を施工中である。残る3施設は、総合計画実施計画に基づき、財政状況を勘案しながら解体を進めていきたい。



きたぐち いさお
北口 功 議員
(無会派)



温泉施設の老朽設備改修

計画的に修繕で安全運営



なかやま荘温泉館入口

問 市民の憩いの場として利用されている、なかやま荘と森乃湯の老朽化（鏡のさびやパネルヒーターの液漏れ）への対応はあるか。
市長 なかやま荘の鏡は、一部がさびで黒くなっており、6年度中に交換する。森乃湯のパネルヒーターに

ついては、更新費用が高額なため、ブルーヒーターを設置し対応する。今後も指定管理者と協議し、安全な運営に努める。
八幡平頂上駐車場混雑時の対策は
問 春の観光の目玉「ドラ

ゴンアイ」の見頃時、駐車場の混雑や渋滞への対策として、シャトルバス運行の計画はあるか。
市長 本年度から、環境省、盛岡広域振興局、自然公園財団、市観光協会、岩手警察署、秋田県側の関係機関と次年度に向けた検討会議

を開催している。
移転する図書館に電子書籍の計画は
問 移転する図書館に電子書籍を導入する場合、アマゾン社と提携して管理・運営する考えはあるか。
教育長 電子書籍は、音声

読み上げ機能や文字サイズの拡大機能などがあり、読書が困難な方や高齢者も気軽に閲覧できる。一方で、システム導入や運営に要する経費に加え、紙の書籍に比べて数倍の費用がかかることから、財政的な課題が大きいと考えている。



たむら まさもと
田村正元 議員
(八起会)



危険な市道安比線

安全確保のため歩道整備



歩行者の逃げ場がない状況

問 ハロウ安比校の開校やインバウンドの冬季観光客の増加により、最優先で歩道整備が必要と考えるが、市の見解を伺う。
市長 スキーシーズンを考慮すると交通量は増加傾向にある。車両通行の安全と歩行者の安全を確保するた

め、補助金を活用しながら歩道整備を進めていきたい。
問 冬季は吹雪でも外国人の方が多く歩いており、危険な状況だが、市はその状況を把握しているのか。
建設課長 状況は把握しており、今年度中に詳細設計を行い、適切な歩道整備を

検討する。
小中学校就学支援
問 ここ10年で物価が大きく上昇している中、支援金額の見直しが必要では。
教育総務課長 国が示す予算単価の基準に従っている。
問 国と八幡平市では平均

年収に大きな乖離がある。地方の実態に配慮した見直しが必要ではないか。
教育総務課長 国の考え方のもとで各市町村が運用することになる。子育て世帯の皆さんを中心に意見を聞きながら、今後は見直しを検討していきたい。

学校のスキー授業
問 来年度は2回の実施ができないか。
教育指導課長 小学校の体育の授業は年間105時間と決まっているため難しい。今後もしスキー授業は、維持していきたいと考えている。



くどう たひろ
工藤多弘 議員
(松西会)



施設全体の備品購入費は

総額で3億5120万円



建設が進む大更駅前顔づくり施設

問 (仮称)大更駅前顔づくり施設の工事費とは別に、多額の備品購入費が必要になると考えられるが、施設全体での見込み額は。

市長 備品購入費は1階および共有部分が約1億8090万円、2階部分が約3210万円、3階部分が約

1億3820万円、総額は約3億5120万円である。

問 施設を利用する方が支払う利用料の年間見込み額および利用者数は。

市長 年間の利用料の見込み額は約350万円、利用件数の想定は、1階のカフェ、物販スペース、イベ

ントスペースなどが約360件、2階の子育て支援エリアの利用者数は約7500人である。

問 人件費を除いた水道光熱費などの施設維持管理費は、年間いくらかかるのか。

市長 施設の維持管理、清掃、警備などに約1000

万円、消耗品費、水道光熱費などの施設運営に約5000万円を見込んでいます。

問 指定管理制度を導入することのことが見解を伺う。

市長 (仮称)大更駅前顔づくり施設については、複数の機能が連携する施設であるため、地域連携や市民と

の協働の視点を加味し、指定管理者を決定する。市内のさまざまな状況を理解した団体や企業が望ましいと考えているが、施設の目的や利用者のニーズも踏まえ、最も適したサービスを提供できる企業や団体を選定することが重要と考える。



さいとう たかお
齊藤隆雄 議員
(日本共産党)



訪問介護の空白地域解消

国への提言に向け準備



富士見荘訪問介護事業所

問 安代圏域の訪問介護の再開に向けた支援策を伺う。

市長 休止している訪問介護事業所の運営方針や介護保険の保険者である盛岡北部行政事務組合と協議し、どのような支援が必要か検討を進める。

問 介護を希望する方への対応について伺う。

市長 利用希望者の生活状況や困り事などを聞き取った上で、他のサービスなどを活用することで代替できる可能性を検討している。また、通所介護と訪問介護を一体的に提供する複合型

サービスの創設など空白地域解消に向け、国に提言する準備を進めている。

給食費の無償化は

問 憲法では義務教育は無償とされているが、見解は。

教育長 教育提供に対する対価として授業料は徴収し

ない一方、学校給食費は保護者負担とされている。

問 給食費を無償化する自治体が増えている。早期の実施に向けた考えを伺う。

教育長 国の方針として、学校給食の無償化については、小学校を念頭に8年度の実現を目指すと考えてい

る。さらに、中学校への拡大も可能な限り速やかに実施する方向で検討が進められていることが報道されている。市教育委員会としても、国の学校給食無償化制度が確立され、その運用が始まる時期に合わせて無償化を実施する考えである。



くまざわ ひろし
熊澤博 議員
(自由クラブ)



元気に長生き高齢化社会 フレイル予防を推進する



寺田コミセンのシルリハ体操

問 フレイル予防に向けた健康教室の開催状況は。

市長 フレイルとは、虚弱を意味する心身の脆弱性が出現した状態で、健康と要介護の中間である。市の介護予防事業はフレイル予防に着眼して推進している。令和5年度の健康教室は2

60回開催し、延べ2450人の方から参加していた。だっている。

問 シルバリーハビリ体操の通いの場の現状は。

市長 令和6年12月末時点で10カ所あり、そのうち住民主体の場合は8カ所、コミセン主催が2カ所である。

不定期での体操指導の依頼は、年々増加し、浸透してきている。

問 シルバリーハビリ体操の指導者数の現状は。

市長 平成29年度から指導者養成事業を開始し、これまで57人の指導者を養成している。そのうち40人の方

が活動可能な状況となっている。内訳は女性が37人、男性が3人である。毎月の定例会で活動の確認や情報交換、体操の復習を行い、会員の育成に努めている。

問 チームオレンジの立ち上げの現状と目指す計画は。

市長 チームオレンジは、

認知症の方や家族の支援ニーズと認知症サポーターなどによる支援をつなげる仕組みである。5年度から認知症サポーターステップアップ研修を開催し、登録者数は29人である。市全域に活動を拡大し、立ち上げを目指していきたい。

会派視察研修

(八起会・市民クラブ・北口議員)



高野町研修会場での集合写真

- 期日 令和7年1月20日・21日
- 場所 和歌山県有田川町、和歌山県高野町
- 内容 廃保育園を官民協働で新たな賑わい創出の成功例、観光振興と文化財保護の両立の取組について調査

ありだがわちよう こうやちよう
有田川町と高野町の取り組み

有田川町は、地方創生の一環で廃保育園を若者の企業の場合として各教室をテナントで貸し出していました。カフェやパン屋などでにぎわっており、地域住民・民間組織・行政がそれぞれ受益者になる相乗効果を生む仕組みを作っていました。高野町は、高野山という世界遺産があり外国人観光客が多い町です。独自の景観条例を施行し、景観行政団体の指定を受けており、国の歴史的風致維持向上計画にも認定されるなど、さまざまな方策で高野山の景観を維持することで観光振興にもつながっていました。

議会の動き

(1月7日～3月26日)

- 1月**
- ▶7日 議会広聴広報常任委員会
 - ▶16日 議会運営委員会、議員全員協議会、令和7年市議会第1回臨時会、会派代表者会議
 - ▶20日 会派合同視察（八起会、市民クラブ、無会派）（～22日）
 - ▶30日 岩手県後期高齢者医療広域連合議会監査、盛岡広域環境組合議会監査
- 2月**
- ▶4日 議員全員協議会、議会改革推進会議、盛岡市市政調査会定期研修会
 - ▶7日 令和7年2月盛岡広域環境組合議会定例会
 - ▶12日 議会運営委員会
 - ▶17日 令和7年2月盛岡地区広域消防組合議会定例会
 - ▶18日 第4回タブレット型端末操作研修会
 - ▶19日 令和7年第1回定例会（～3月18日）、ハチタン議会、議会改革推進会議
 - ▶21日 令和7年2月岩手県後期高齢者医療広域連合議会定例会
 - ▶26日 令和7年盛岡北部行政事務組合議会第1回定例会、岩手県後期高齢者医療広域連合議会監査、盛岡広域環境組合議会監査
- 3月**
- ▶4日 総務教育常任委員会、議会広聴広報常任委員会
 - ▶5日 産業民生常任委員会
 - ▶6日 産業民生常任委員会
 - ▶7日 予算特別委員会（～14日）、議員研修報告会、議会改革推進会議
 - ▶10日 議員全員協議会
 - ▶13日 議会改革推進会議
 - ▶14日 議会運営委員会、オンライン会議操作講習会
 - ▶18日 総務教育常任委員会、議員全員協議会
 - ▶25日 議会運営委員会
 - ▶26日 議会広聴広報常任委員会

問 八幡平温泉郷のレストランが多額の負債を抱えて倒産した。市が観光調査の委託や補助（6年間で約4億4000万円）をしている株式会社八幡平DMOを通じて、この施設を運営する会社に多額の税金が再委託されている。このDMO

の監査はどうなっているか。代表監査委員 監査は委託業務を指導監督する商工観光課を対象に実施した。その中で、市からの委託業務の再委託割合が、県北バスと倒産したレストランを運営する株式会社クレセントに多いため、見直しをする

ように市に意見を述べた。問 既存の八幡平DMOの機能を市観光協会へ移行するのはなぜか。商工観光課長 モデル観光地事業の組織再編により、市観光協会が「観光地域づくり団体」となる。八幡平DMOは「地域経営組織」と

して、新たな活動を行う。問 八幡平DMOへの業務委託を含め、この事業は成功だったと考えるか。市長 成功が失敗かの判断は難しい。コロナ禍で八幡平DMOの本来の力が発揮できなかったことは否めないが、観光事業者への波及

効果は非常に大きかったと考えている。※DMOとは、観光庁に登録された「観光地域づくり法人」の略称。地域の稼ぐ力を引き出し、地域への誇りと愛着を醸成するため観光地域づくりの司令塔として戦略の策定・実施を担う。



ふるかわつよし
古川津好 議員
(松西会)



八幡平DMOは成功か
成功失敗の答えは難しい



多額の負債を抱え破産した施設

※各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。

次は 6月定例会 (予定)
※日程は変更になる場合があります。

期 日	内 容
6月12日(木)	議案上程 ほか
6月13日(金)	一般質問
6月14日(土)・15日(日)	休会
6月16日(月)	一般質問
6月17日(火)	一般質問
6月18日(水)	議案審議
6月19日(木)	休会
6月20日(金)	委員長報告 ほか

議会を傍聴しませんか

八幡平市議会では、本会議などを誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は、議会開催日に市役所3階の議会事務局までお越しください。

開催時刻は一部を除き午前10時からです（終了時間は日によって異なります）。詳しくは、八幡平市議会のホームページをご確認ください。

議会の映像を見ることができます

八幡平市議会では、議会開催日に市役所本庁舎1階のテレビでライブ中継を行っているほか、インターネット（YouTubeの八幡平市議会のチャンネル）で録画配信しています。

令和7年3月定例会の視聴回数は1,277回です。
令和6年12月定例会の視聴回数は 728回でした。
(令和7年4月18日時点)

クイズ

問 ○の中には、どんな文字が入るでしょう？

平館高校生と市議会議員による模擬議会「○○○○議会」を開催しました。

- 応募方法 答え、住所、氏名（ふりがな）、年齢、「ギカイのひろば」を読んだ感想、市政や市議会への意見・要望などを必ず記入の上、はがきやファクス、電子メールでご応募ください。正解者の中から抽選で5名の方に八幡平市共通商品券1,000円分をお贈りします（当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます）。※お寄せいただいた個人情報は景品の発送以外には使いません。
- あて先 〒028-7397 八幡平市議会事務局 議会だより 係 FAX：0195-74-2105 E-mail：gikai@city.hachimantai.lg.jp
- しめ切り 令和7年6月13日(金)(当日消印有効)
- 前回(No.78)の正解 18(人) 応募者 16人 正解者 13人